

令和6年度 市川三郷町地域公共交通会議（山梨県市川三郷町） （地域公共交通計画策定事業）

公共交通の概況・地域の特徴

- 市川三郷町は、山梨県甲府盆地の南西に位置し、豊かな自然環境と伝統的な地場産業を有している。
- JR身延線が町外（甲府方面・静岡方面）への移動手段として機能しており、町営コミュニティバス・一般タクシーが町内における移動を支えている。
- 本町は、財政非常事態宣言を発出しており、財政状況の改善に向けて、公共交通サービスの抜本的な見直しを行うこととしている。
- 本町においては、“自家用車依存が高く、地域公共交通に対する関心が低い”ものと想定されている。特に、公共交通機関の停留所が近くにないことが、関心が低くなる要因の一つと考えられる。

地域の抱える問題点・計画策定調査の必要性

- 町の現状や上位関連計画等を踏まえ、想定される課題・方向性等を設定しており、それらの妥当性を確認するため、各種調査によって、移動実態や利用状況等の把握を行う必要がある（想定される課題・方向性は3ページのとおり）。
- また、財源が限られている中で、費用対効果の高い公共交通サービスを提供することを目指しているため、定量的データ（アンケート調査結果）に基づいた計画策定が重要である。

アピールポイント

- 各種調査（町民アンケート調査、利用者アンケート調査）で明らかにすべき事項を整理するために「想定される課題・方向性」を検討した。
- 資源が限られるため、交通弱者（高齢者・中高生）の移動手段を確保すること優先事項としている。そのため、町民アンケート調査に加えて、中高生アンケート調査を実施し、若年層の移動実態の把握に努めた（高齢者の移動実態は町民アンケート調査で把握することができる）。



面積	75.18km ²
人口（R6.4.1時点）	14,570人
15歳未満	1,340人
65歳以上	5,692人
高齢化率	39.07%

協議会開催状況

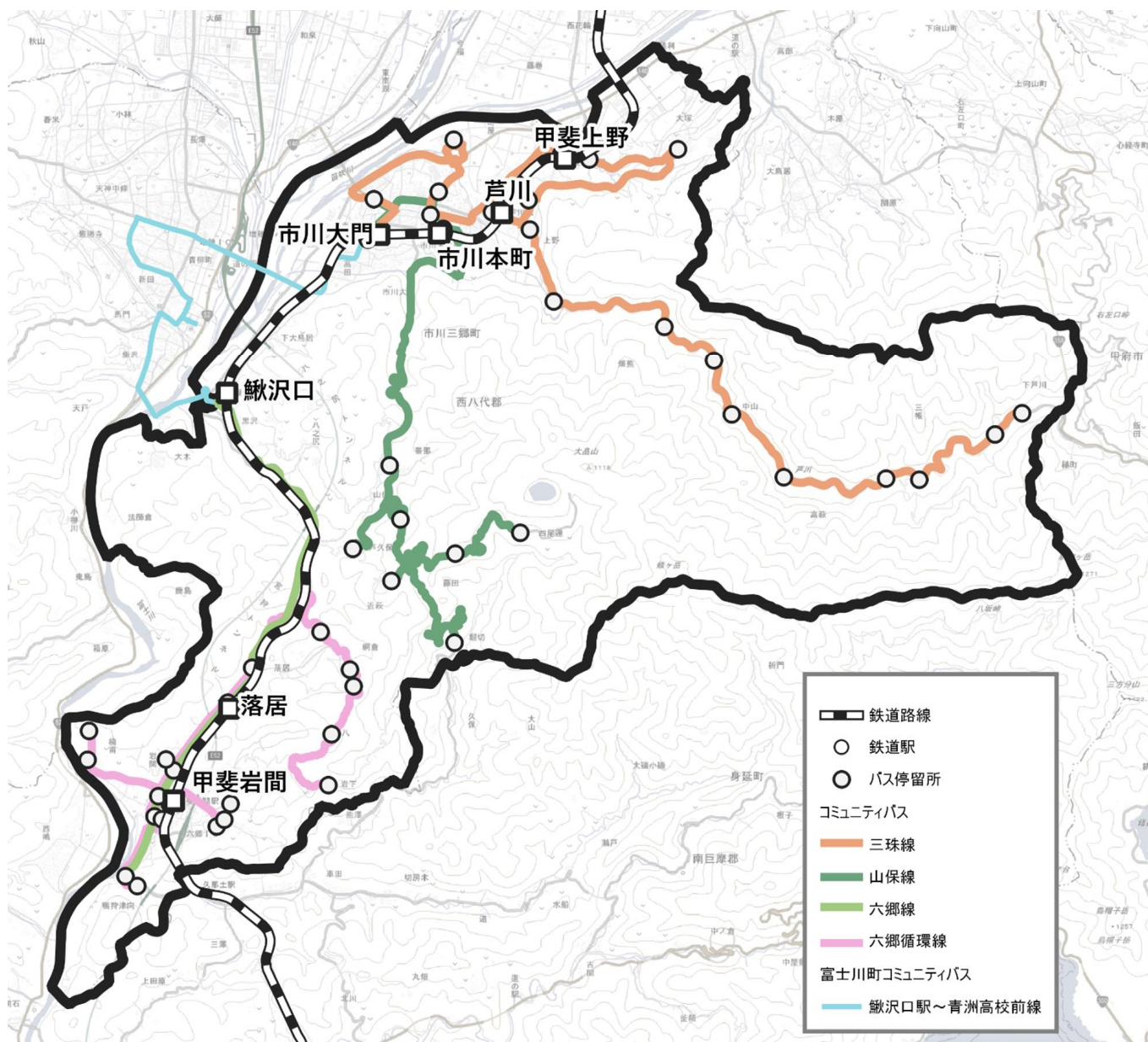
令和6年度の開催状況（予定含む）

■第1回（令和6年4月25日）
・地域公共交通計画の策定について

■第2回（令和6年11月8日）
・地域公共交通の課題・方向性（想定案）について
・各種調査の実施について

■第3回（令和7年3月頃）
・各種調査の実施結果について
・地域公共交通の課題について

現状の公共交通ネットワーク



地域公共交通の課題・方向性(11月時点の想定案)

市川三郷町が目指す まちの姿

- 総合計画では、まちづくりの将来像を「自然・歴史・文化を活かした「にぎわい」づくり～子どもたちの未来へ伝統と安心をつなげて～」としている。
- 財政非常事態宣言を発出し、行財政改革を推進している。行財政改革の中で「施設のあり方や有効活用策についての検討を最優先で取り組むとともに、既存の地域交通体制を抜本的に見直す」こととしている。



市川三郷町地域公共交通の課題 (想定)

- ① 高齢者を中心とした交通弱者への交通サービス提供
- ② 公共交通不便地域における移動手段の確保
- ③ 地域ニーズに即した公共交通サービスの効率化
- ④ 住民や民間と連携した公共交通サービスの担い手確保



市川三郷町地域公共交通の現状

- 高齢化が進行しており、町民の約4割が高齢者となっている。
- 人口は駅周辺に集中しており、一部山間部にも集積が見られている。
- 商業施設・医療施設は、駅周辺部に集中している。一方で山間部には施設の立地が見られない。
- 主に通勤・通学において甲府市など町外への移動がみられている。
- 旧町単位ごとに移動特性が異なる。
- 交通事業者においては、ドライバー不足やドライバーの高齢化を抱えている。
- 町内には公共交通のほか、富士川病院シャトルバス、隣接自治体コミュニティバス等の輸送資源がある。その他、移動スーパーも運行されている。
- 年間23万人ほどの観光来訪者が訪れており、重要な産業となっている（令和4年度）。

基本理念 (想定)

交通弱者の暮らしを支える
地域と一体となった
持続可能な 地域公共交通

目指す姿 (想定)

- ① 地域公共交通で買い物・通院ができる
評価指標（令和7年度に検討）
- ② 地域公共交通で市街地までおでかけできる
評価指標（令和7年度に検討）
- ③ 地域公共交通で市街地内の移動がしやすい
評価指標（令和7年度に検討）
- ④ 地域公共交通が他分野のまちづくりを後押しする
評価指標（令和7年度に検討）
- ⑤ 地域公共交通をみんなで支える
評価指標（令和7年度に検討）

施策・事業 (イメージ)

施策① 広域交通の維持・拡充

- ・ JR身延線の維持
⇒関係者との協議
- ・ その他交通サービスの研究
⇒近隣市町との連携、送迎サービスの活用など

施策② 町内交通の再編

- ・ 町営コミュニティバスの再編
⇒山間部から中心部をつなぐサービスの提供（定時定路線型、デマンド型、自治体版ライドシェア等）
⇒中心部内における移動サービスの検討・提供（定時定路線型、デマンド型等）
- ・ その他交通サービスの研究
⇒地域主体の交通サービス等

施策③ 交通・まちづくりの連携

- ・ 交通サービス同士の連携強化
⇒ダイヤ調整、待合環境整備
- ・ 交通と施設の連携強化
⇒企画乗車券の検討・導入
※公共施設再編と連携

施策④ 公共交通の利用促進

- ・ 情報発信の強化
⇒総合交通マップ等の作成
- ・ 利用機会の創出
⇒無料券の配布 等